

村政を問う 一般質問

8

女性消防団員の登用は
不登校児童生徒の対応策は
人・農地プラン作成の進捗状況は
区未加入者の実態調査は
全国瞬時警報システムの運用体制は
村内で合宿する団体に助成を

はろば
白馬
議会だより
101号

平成24年 7月31日発行

平成24年第2回定例会

1

このような審議がありました

2

議会研修視察実施報告書

4

議決結果

6

私の思い出

14

わたしのひまわり

15



天まで響きわたれ (白馬北小学校音楽会) 7月4日

717万5千円!!増額

*報告

*一般会計・特別会計予算の議案

*条例の一部改正の議案

*承認

*意見書提出の発議

*その他

*陳情等（継続案件を除く）

2件

2件

2件

6件

1件

1件

1件

本会議での質疑

このような質疑がありました。

●平成23年度一般会計補正予算（第7号）

問（篠崎久美子）地方交付税7003万4千円を最終補正まで留保し、財政運営できた理由は。

答（横川総務課長）豪雪による大型補正等もなく、堅実な運用と前年度繰越金による財源確保ができたこ

とにより補正することなく留保することができました。

問（篠崎久美子）「ふるさとと白馬村を応援する寄付金」の件数は。

答（横川総務課長）7件です。

問（篠崎久美子）臨時財政対策債1億8878万1千円の大幅な減額補正の理由は。

答（横川総務課長）村税をはじめ歳入予算額を上回る予算や留保財源により、臨時財政対策債を限度額まで借り入れをしなくても決算を打てる見込みとなったため

す。

●平成24年度一般会計補正予算（第1号）

問（篠崎久美子）宅幼老所等整備事業補助金750万円の内容と施設の概要は。

答（倉科住民福祉課長）名鉄地域に、小谷のNPO法人が計画している宅老所開設のための既存施設改修費用1500万円に対する50%の補助です。通所定員は



老朽化により架け替えが必要な楠川橋

10名前後ですが、具体的な施設の概要は現在、県と協議中です。

問（太田修）雑入574万5千円の内容は。

答（横川総務課長）別会計を組んでいたデマンドタクシーとナイトシャトルバスの実証運行事業が平成23年度で事業完了となり、会計精算に伴い24年度会計の雑入で受けたものです。

問（太田修）村道改良国庫補助事業の工事請負費から実施設計等委託料に850万円を科目更正した理由は。

答（太田建設水道課長）橋梁長寿命化計画策定の結果、緊急性の高い楠川橋の架け替えの設計を申請し、事業採択されたことにより全体事業費を変更するものです。

平成24年度 一般会計補正予算

庁舎修繕

このような審議がありました

総務社会委員会

● 議案第29号
白馬村課設置
条例等の一部
を改正する条
例

ウイング21ホール改修
836万5千円

外国人登録法が
7月9日に廃止さ
れるため、白馬村

課設置条例、白馬村手数料条
例、白馬村地域情報化施設の
設置及び管理に関する条例
の3つの条例を一括して一
部改正し、外国人住民に住民
基本台帳法を適用するもの
です。
▽委員全員の賛成により可
決すべきものと決定

● 議案第30号 白馬村印
鑑条例の一部を改正す
る条例

外国人登録法の廃止にと

もない、外国人住民が住民基
本台帳法の適用を受けるた
め、日本人同様に基礎的行政
サービスがうけられること
になり、印鑑登録証明事務処
理業務の改正をするもので
す。
▽委員全員の賛成により可
決すべきものと決定

● 議案第31号 平成24年度
白馬村一般会計補正予算
(第1号) 所管事項

総務課関係では、庁舎玄関
周りの修繕、正面駐車場の修
理、多目的施設のトイレの洋
式化の工事請負費などに、7
17万5千円の増額。

教育課・スポーツ課関係で
は、スノーハープ維持管理事
業に、悪臭と排水の悪さを確
認調査するための費用、50
6万1千円の増額。

白馬ジャンプ競技場維持
管理事業に、県の地域発元気
づくり事業補助金242万
8千円を用い、スタートタ
ワー4階の改修、その他に滑

走路整備用備品の改修等に、
688万9千円の増額。

中学校正面の池の給水管
敷設工事と3階の教室8部

屋に、各2台の壁掛け扇風機
の購入費などに215万円
の増額。
青鬼地区の案内看板の設



三市村(糸魚川・小谷村・白馬村) 議会議員合同会議 小谷村役場 7月9日

置と、景観
上好ましく
ない木柱の
撤去費用に
99万6千円
の増額。
ウイング
21ホールの
老朽化して
いる音響機
器・舞台照
明の部品交
換やプロ
ジェクター
の購入など
に836万
5千円の増
額。

住民福祉
課関係では、
宅幼老所等
整備事業補
助金で、N
PO法人

「白馬の風」の介護施設開設に対する補助金に750万円の増額。

意見

＊スノーハープの土質調査は陸上競技場ありきではなく、利活用のための調査をお願いしたい。

＊スノーハープの改修については、相当議論をしないと進めない。調査の結果・情報はしっかりと知らせていただきたい。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●陳情第3号 「住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書」提出に関する陳情

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定



第15回白馬スノーハープクロスカントリー大会 7月22日

継続審査

●陳情第2号 国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情書

意見

＊増税は避けられない。税の公平性からみても消費税が一番である。

＊陳情書の内容はすべてに納得できるもので、賛成である。▽委員少数の賛成により不採択すべきものと決定。

産業経済委員会

●議案第31号

道路維持補修
1500万円増額

平成24年度白馬村一般会計補正予算(第1号)の所管事項

環境課関係では、51箇所の集積場の表示看板を作り直すための塵芥処理委託料86万7千円、地区のごみ集積場設置補助金162万1千円の増額。

問 集積場設置補助金の補助率は。

答 事業費の4分の3、上限120万円。

問 新規の地区集積場設置補助は今後も続けていくのか。

答 継続的に補助していきたい。

観光農政課関係では、残雪対策本部を設置し、残雪処理委託料、消雪剤補助金など農作物残雪対策事業に88万9千

円。

人・農地プラン作成事業に51万円の増額。青鬼地区林道の1000mコンクリート舗装に150万円の増額。

国際交流事業として、中国女性1名の就業体験受け入れに83万2千円の増額。観光総務事業の「白馬の夏祭り」負担金50万円の増額。

岳の湯隣りのスポーツアリーナ水銀灯修繕に24万円の増額。八方池山荘、猿倉山荘の修繕費に88万6千円の増額。

問 「白馬の夏祭り」負担金を50万円増額し、前年度並みに戻った理由は。

答 景気が低迷している中で、経済対策として増額した。

問 日中国際交流事業の就業体験受け入れ場所は、7月から10月までの間の道の駅で受け入れる予定。

答 建設水道課関係では、舗装工事が主な村道維持補修事業に1500万円、各区普請の原材料支給などに300万円

の増額。

問 道路補修事業で毎年どのくらい必要か。

答 毎年2000万円ほどが必要と考える。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

継続審査

●陳情第11号 「最低制限価格の設定に関する陳情」

意見

＊品質を確保するという意味では、必要な制度ではないかと思う。

＊検討してもいいと思うが、85%程度という数字が気になる。

討論

趣旨採択の立場から、時代や自治体の流れで考えてもいいのでは。85%が気になるが、見据えて入札制度を見直したらどうかと思う。

▽委員多数の賛成により採択すべきものと決定。

議 会 研 修 視 察 実 施 報 告 書

視察研修の目的

1、産業福祉の先進地を視察し、議員知識の習得や見識を広め、村の住民福祉の向上と産業振興に役立てる。

2、国の再生可能エネルギーの買い取り制度の施行に伴い、村が平成24年度から実施する小水力発電の債務負担的に位置付けされた平川小水力発電事業に先駆け、先進地である山梨

県都留市を視察し、維持管理や技術や費用面等について研修。

3、農業の6次産業化（生産・加工・販売）を手掛ける（有）国立ファーム（くにたち）が経営する「農家の台所」の視察。

4、赤字を出し続けた「いすみ鉄道」を、たった1年で黒字路線にした公募社長の仕掛け、考え方を研修。

視察研修実施者

議会議員 11名

視察研修場所

- ・ 家中川小水力市民発電所 「元気くん1号」他 山梨県都留市
- ・ （有）国立ファーム 「農家の台所」 東京都中央区
- ・ いすみ鉄道（株） 千葉県夷隅郡大多喜町

視察研修日程

平成24年7月5日（木）
～6日（金）

視察研修経費

- 収入
- ・ 旅費（公費） 21万6700円
- ・ 自己負担 6万6614円



小水力発電施設「元気くん1号」 山梨県都留市 7月5日



小水力発電施設「元気くん2号」 山梨県都留市 7月5日

・視察経費分 2万5970円
 ・合計 30万9284円

●支出
 ・視察代（鉄道賃を含む） 6万5700円

・宿泊・食事代（4回） 21万5514円

・視察先 手土産代 2100円

・道路使用料・燃料代 2万5970円

・合計 30万9284円

研修視察内容

・家中川小水力市民発電所「元気くん1号」他
 山梨県都留市

平成24年7月1日から、再生可能エネルギーの買い取り制度が施行。これにより原発・化石燃料発電から再生可能エネルギーによる発電に移行が進むことになる。山間部では、小水力発電が地形からいっても可能、かつ有望であると言われている。先進地である都留市は、市全体がエコ構想を維持し、小水力発電

はその一環である。江戸時代から灌漑水路が発達し、明治以降には織物の染色に使われていたため市内の水路が大きく整備されている。小水力発電施設「元気くん第1号」は、平成16年稼働／開放型下掛け水車／12kw／費用4千万円。「元気くん第2号」は、平成22年稼働／開放型上掛け水車／18kw／費用6千万円。「元気くん第3号」は、平成24年稼働／開放型らせん水車／4kw／費用3千5百万円。

発電した電力は、市役所、エコハウス、植物栽培展示施設、ミュージアムの電力に消費され、夜間や休日は電気事業者に売電している。

・「農家の台所」

銀座店 東京都中央区

チェーン店「農家の台所」で初のビュッフェスタイルのお店、(有) 国立ファームが設立した。都心4店舗で経営する「八百屋」も含め、生産・加工・販売の6次産化を実践し、銀座並木通りに面したビルにある「農家の台所」

は、平日にもかかわらず満員状態であったが、価格や客の回転等難しさが感じられた。

・いすみ鉄道

千葉県夷隅郡大多喜町

ムーミン列車や旧型ディーゼル車（キハ）を走らせて、それまで年間1億円の赤字を出し続けた路線を、たった1年で黒字路線にした。公募の社長である鳥塚亮氏の手腕は大きい。様々な嗜好を凝らした演出が駅や列車に施されている。駅名や枕木のオーナー制。また、車内販売や駅売店ではビンのコーラやファンタ。ムーミン・キャラクターの飴、レトルトカレー、ビスケット、チョコレートなどを販売している。大系線を走っていたキハ52は、週末の（鉄道ファン）イベント列車として運行されている。営業実態は、地域住民の交通手段での必要経費として、関係自治体が年額1億円を下支えしている。



ムーミン列車 いすみ鉄道株式会社 千葉県夷隅郡大多喜町 7月6日

● 6 月 定 例 会 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
村道上の事故に係る損害賠償の専決処分報告	〔報告事項〕
平成23年度 白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書	
税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	承認(賛成全員)
都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
平成23年度 白馬村一般会計補正予算(第7号)の専決処分報告	
平成23年度 白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告	
平成23年度 白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告	
平成23年度 白馬村下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告	可決(賛成全員)
課設置条例等の一部を改正する条例	
印鑑条例の一部を改正する条例	
工事変更請負契約の締結について	
平成24年度 白馬村一般会計補正予算(第1号)	
平成24年度 白馬村一般会計補正予算(第2号)	
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書	

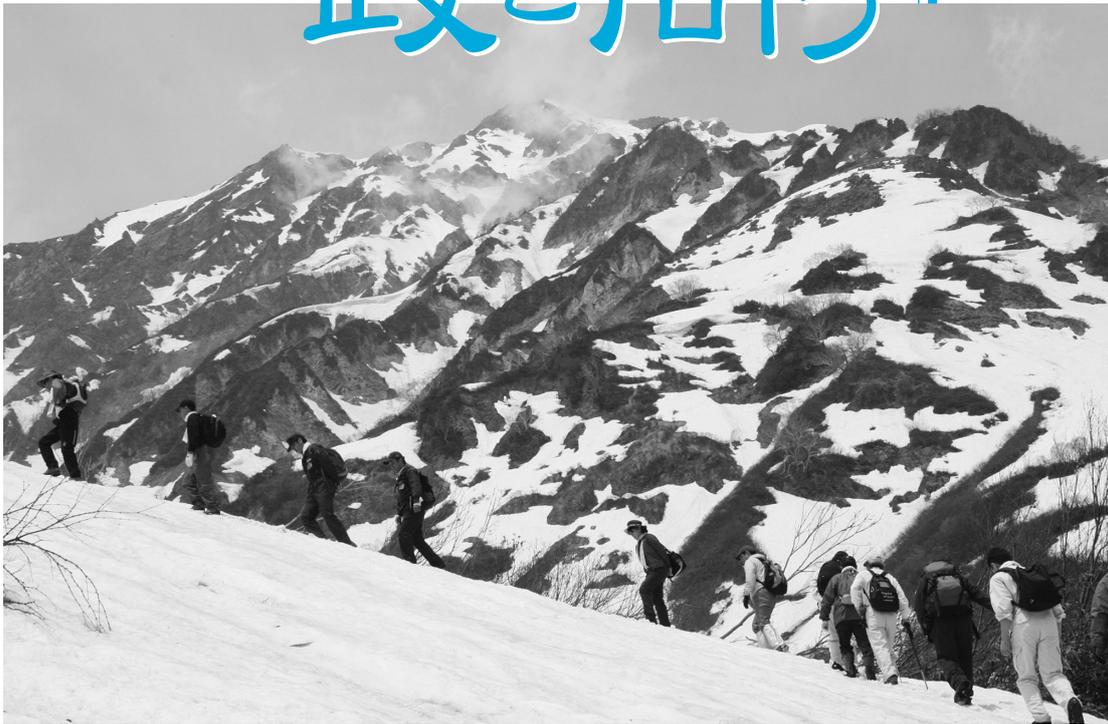
● 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
長野県国家公務員 労働組合共闘会議 議長 戸澤 一雄	長野市	「住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書」提出に関する陳情	総務社会	採択 (全員賛成)
「議会基本条例」を考える会 代表 中村 敬	白馬村	「白馬村議会基本条例」制定に関する陳情書 (継続案件)	議会運営委員会	継続審査 (全員賛成)
長野県建築士事務所協会 会長 新井 典夫 大北支部長 荒山 行雄	大町市	最低制限価格の設定に関する陳情書 (継続案件)	産業経済	採択 賛成多数 (反対: 柏原)
北アルプス民主商工会 代表 種山 博茂	大町市	国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情書 (継続案件)	総務社会	不採択 反対多数 (賛成: 小林)

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

活力ある
村づくりをめざして



開山祭（貞逸祭）記念登山 5月26日



B&Gプールリニューアルオープンセレモニー
シドニーオリンピック 銀メダリスト 中村真衣さんを迎えて 7月25日

消防団問題

問 女性消防団員の登用は

答 検討し確保に努めます



柏原 良章 議員

【白馬村消防団の状況について】

問 村全額負担の消防車両と地区負担の車両及び使用状況は。

村長 村管理の公有車両は指令車1台、ポンプ車3台、ポンプ積載車9台、地区管理のポンプ積載車は7台で計20台です。火災発生出動計画では公有車両の出動としてあり、火災の一次出動は指令車1台、ポンプ車3台、分団の公有ポンプ積載車3台が出動です。各地区維持車両は予防期間の域内巡回、警戒活動、危険活動パトロールなど



消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 ラッパ吹奏 6月17日（岩岳駐車場）

問 村内3分団の団員数、出動状況、村内勤務団員数は。

村長 本部11名、南部分団88名、中部分団97名、北部分団49名、総数245名で日夜予防消防や各種訓練に励

で使用します。

村長

問

出動状況、村内勤務団員数は。

村長

本部11名、南部分団88名、中部分団97名、北部分団49名、総数245名で日夜予防消防や各種訓練に励

んでいます。各分団では4名以上が車両出動の原則ですが、現地合流の団員数の確認ができれば最低2名で出動できます。村内勤務団員数の割合は75%程度です。

問 村外勤務団員の出動補助に女性消防団員の登用は。

村長

入団希望者に男女を問わず広く開放して

ます。女性ならではの視点や持ち味を活かす検討を進め、団員確保に努めたいと考えます。

問 出動迅速化への取り組みは。

村長

平成23年10月から団独自の火災通報メールシステムを導入し、登録されたアドレスに送信するシステムで消防団の迅速な出動に大きく貢献しています。

問 【ユートレ白馬について】加入率、戸数は。利用料の減額の考えは。

村長

3月末には1858戸で約50%程度となり、当初予定の目標値にはならない状況です。指定管理者の収支報告では、人件費、機器保

守、電柱添架料等の支出と収入は相当で、村営として事業永續のため、現行料金は最低と考えています。

問 高齢複数世帯への利用料減免措置の検討は。

村長

複数世帯数は220戸ほどで、減免すると収支が合わなくなりますが、対象範囲の見直しを柔軟に検討していきます。

問 通告外質問

【公共下水道受益者負担金問題について】

本日、公共下水道受益者負担金が時効により欠損処理になる可能性があるという新聞報道があったが、この重大な問題への対応は。

残念であり、村民の皆様にご迷惑をかけた大変申し訳なく思います。多額の欠損処理をせざるを得ない状況です。時効を回避する対策を十分に講じてなく、関係職員の怠慢とも思われます。今後どうすべきか、まとも次期責任を持ってお知らせします。

支報告では、人件費、機器保

守、電柱添架料等の支出と収入は相当で、村営として事業永續のため、現行料金は最低と考えています。

問 高齢複数世帯への利用料減免措置の検討は。

村長

複数世帯数は220戸ほどで、減免すると収支が合わなくなりますが、対象範囲の見直しを柔軟に検討していきます。

教育問題

問 不登校児童生徒の対応策は

答 学級診断アセスメントで対応



小林 英雄 議員

【教育問題について】

問

村に不登校児童生徒がいると聞くが、いるとすれば原因を把握しているか。また、対応策を講じているか。

村長

平成22年度は小学校で3名、中学校で4名、23年度は小学校が1名、中学校で4名、不登校が原因で年間30日以上欠席しています。不登校児童生徒の比率は、県平均よりやや低い状況になっています。不登校の対応策では、児童生徒の立場に立って、学ぶことの楽しさが味わえる授業、わかる授業を目指し、きめ細やかな指導や児童生徒

が主体的に参加できる授業に努めています。また、中学校においては、村費により「心」の相談員」を配置しています。「不登校の早期発見・早期対応」では、学級診断アセス



白馬高等学校 正面 7月25日

メントといわれる調査を、昨年度から全校児童生徒を対象に村費で実施し、児童生徒の実態の再確認に努めています。また、中学校の教員が小学校6年生に対して授業を行う出前授業を昨年度から実施して、中学校への興味関心を高め、教科担任制への不安を軽減するよう努めています。

問

白馬高校は大北地域の高校として貴重な存在だが、再びその存続が懸念されている。このことについてどう考えているか。

村長

この春の募集定員80名に対し、入学生徒数は49名と定員に満たない厳しい状況となっています。高校再編の新たな方針である基準の2学級は確保できているものの、生徒数の確保が大きな課題となっています。松本、長野方面の高校に行く生徒が増えています。

【新ごみ処理施設建設問題について】

問

北アルプス遊交学に記

には「9月までに、関係3市

村から候補地を推薦していた

村長

村では、もし複数の候補地があれば1箇所絞ることはせず、そのまま複数推薦します。

問

村内で立候補したところはありますか。

村長

現時点では、ありません。

問

現状で9月までに推薦が可能なのか。

村長

申請により推薦したいと考えています。

問

「地域の課題や振興策と併せて推薦いただく」とあるが、地域とはどの範囲か。振興策としては何を考えているか。

村長

立候補する地元行政区とを考えています。具体的振興策は、行政側からはお答えできません。

農業問題

問 人・農地プラン作成の進捗状況は

答 プランの地域的まとまりの策定段階



篠崎 久美子 議員

〔人・農地プランについて〕

問 当村の抱える農業の問題点は。

村長 農業者の高齢化、後継者不足に伴う耕作不能地の増加や、鳥獣被害による山間部での耕作放棄地の増加

米価低迷により米に代わる農作物生産の必要性があります。

問 プラン作成状況は。

村長 すでに調査を終えており、プラン取り組みの地域的範囲については6月の農業再生協議会で決定し、その後、話し合いで原案作成、エリアごとの検討会を実施する予定です。

る予定です。

問 農地集約と遊休農地解消はどの程度進む予定か。

村長 プラン作成前の現段階では、まだ見込みが立たない状況です。

問 プラン作成による農業6次産業化(*)の推進は。

村長 プランに取り組みするための施設整備等の支援を考えているところで、6次産業化への取り組みを推進したいと考えます。

問 過去の1村1農場構想の営業者との兼ね合いは。

村長 原案の段階で考えていきたいと思えます。

問 地域検討会への女性の参加方法は。

村長 検討中で、JAなどと相談しながら、と考えています。

〔買い物弱者について〕

生活弱者について

村内の状況把握は。

村長 高齢者福祉計画策定の経過の段階で、関係者から意見を聞いています。

問 安全安心のために民間業者との提携を模索してはどうか。

村長 現在のサービスのほかに、新聞販売店や郵便局などとの業務提携が考えられ、前向きにすすめることを指示しています。

問 福祉専門職の配置を検討されていますか。

村長 現在の専門職のほかに、社会福祉士などの充実をしたいと思います。慎重に検討してまいります。

〔振興公社事業について〕

問 夢白馬と地場産コーナーの充実策は。

村長 そばガレットの常時提供、姉妹都市特産品の販売、村内観光関連業者対象の特産品展示会の開催、PRの充実や北アルプス山麓ブランド促進イベントへの積極的参加を考えています。地場産販売コーナーは季節ごとに柔

軟に対応し、加工品の「おやき」「おかき」の定番特産品を軌道に乗せたいと思えます。

問 観光農政課や観光局との連携は。

村長 連携の1つである白馬駅前観光案内所は、観光局の移転と合わせ、そのあり方を検討したいと考えます。

問 一般財団法人化の予定は。

村長 今年度中に一般財団法人化への移行認可申請をし、来年4月1日から新法人として事業開始の予定です。

(*)6次産業化：農産物の生産、加工、販売サービスを一体的に産業化すること。



商品化が期待される白馬の大豆 7月24日

住民問題

問 区未加入者の実態調査は

答 年度内には実施したい



太田 修 議員

【行政と区の果たす

役割について】

問 有事の際、区未加入者の行政対応と区の役割は。

村長 災害発生時は、住民の避難誘導や安否確認、避難所の運営など、行政区に期待することは多岐にわたります。区加入への法的強制力がないことから、各区長の意見を聞きながら最善策を見出していききたいです。

問 未加入理由等の実態調査は。

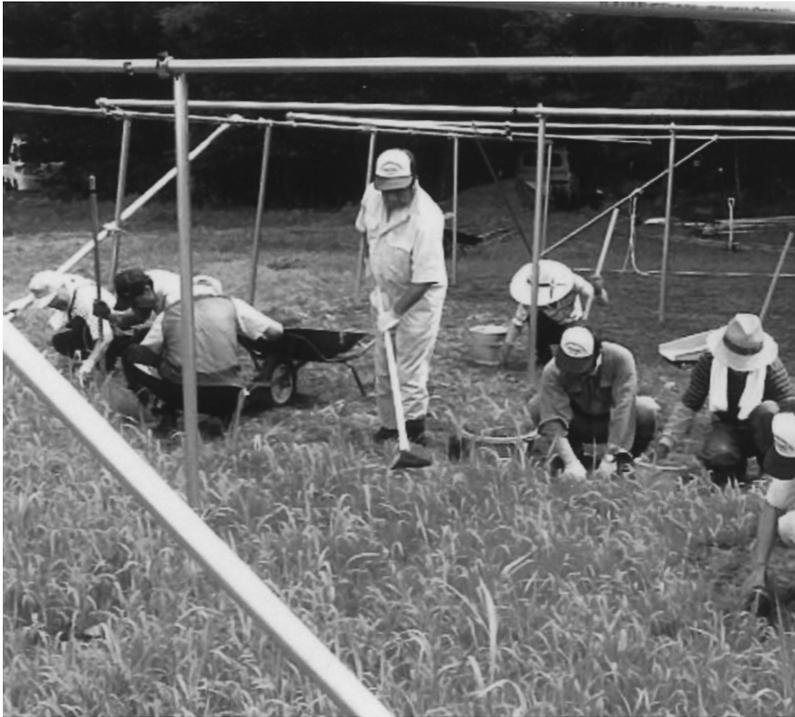
村長 前回調査から6年ほど経過しており、年度内には実施したいです。

【水源の保全対策について】

問 村独自の規制区域と要綱等のルール化は。

村長 水道水源林は、国の法整備と、県が届出制な

ど事前把握をする条例化を目指すし、地方事務所ごとに設ける水系別の水資源保全対策地域連絡協議会の開催を待っている状況です。



ワサビ圃場の整備 深空

問 保全区域を線引きし、守るべき区域を守る考えは。

村長 村全体の配水量の60%が源太郎伏流水で、

26%が二股木流川の表流水、14%が楠川の伏流水と推測され、西山山域一帯は国有林や保安林です。村も重要な問題であることを認識しており、県の連絡会議での意向を聞き、庁内議論を経て進めたいと思います。

問 ペットボトル飲料水の商品開発と販売への考えは。

村長 競争が激しい分野と聞いています。水利権の取得、水質等の問題もありますが、活かすべきものは活かしながら企業等に支援したいです。

【産業振興について】

問 耕作放棄地の現状と特産品の掘り起こし策は。

村長 平成23年度は、水田約21ha、畑約12haです。

大北地区農業振興推進協議会で、新たな素材の開発をし、24年度から3年間かけて「北

アルプス山麓ピリツとさわやかワサビプロジェクト」と「おひさまニコニコひまわりプロジェクト」に取り組んでおり、村も協力しています。

問 特産品の認定数と宣伝・販路拡大は。

村長 認定は8品目です。宣伝はテレビ番組の取材協力による放映やDVD・パンフレットでの情報発信、北アルプス山麓ブランド流通推進委員による販路拡大をしています。

【この村

整備計画について】

問 岳の湯利活用は。

村長 1月で通所型介護施設が閉所されたこと、村内の福祉施設が少ないことを考慮し、福祉施設を優先に取り組んでいます。

問 グリーンスポーツの森整備計画は。

村長 平地観光の拠点施設であり、トイレ整備を最優先し、将来に向け一つずつ整備していきます。

防災問題

問 全国瞬時警報システムの利用体制は
答 同報系防災無線を活用



太田 伸子 議員

【J・ALER T（全国瞬時警報システム）について】

問 J・ALER Tの運用体制は。

村長 J・ALER Tとは、津波警報や緊急地震速報

弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、国の機関である内閣官房又は気象庁が人工衛星を用いて情報を送信し、市町村の防災行政無線を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を直接、そして瞬時に伝達することができシステムです。村では、受信アンテナ、受信機、自動

起動装置、回転灯や表示装置などの周辺機器を新設し、同報系防災無線を住民に対する情報伝達手段としたことから、操作卓の改修も行いました。村内周知方法は。

問

受信すると同報無線が自動起動し、屋外子局と各家庭に設置している戸別受信機から緊急情報が放送されます。

村長

【子どもたちの安全について】

問 白馬南小学校から南に歩道工事が行われているが、ガードレール設置の予定は。

長教育

社会資本整備総合交付金（凍雪害防止）事業で、車道の除雪した雪を歩道側に押し込み、歩道をロータリーで除雪することになります。堆雪帯設置工事でありガードレールの設置はありません。

問

通学路危険個所の見直しと把握は。

長教育 村教育委員長より交通事故防止並びに水の事故防止に関し、早急な洗い出しを指示されており、実施していきます。

問 各小中学校での安全指導は。

長教育 南小では、集団登校時に踏切や橋、信号機や横断歩道付近に職員を配置し安全指導を行い、県交通安全教育センターより講師を招き、自転車の安全な乗り方について指導を受けます。北小では、集団登校班の顔合せ会を開催し、1年生の集団下校時に方面別にリボンによる班分けをして、担当職員が同行し安全確認と注意地点等の把握を実施、白馬交番と村交通安全協会の指導員による正しい自転車の乗り方についての知識・マナー・技能を学習しました。

【庁舎管理について】

庁舎の改修計画は。



児童生徒を守る歩道（堆雪帯）工事と勾配改修工事 7月25日

建設以来33年が経過し、いたるところ修繕が必要で、防災拠点という位置付けもあり、非常時に備えた発電施設、情報発信施設の整備など、計画的に補修を進めて参ります。

中学校では、自転車通学説明会を開催し、ヘルメット着用とあごひもを締めること、並進の禁止、下校時のライト点灯を徹底しました。

【庁舎管理について】

庁舎の改修計画は。

村長

建設以来33年が経過し、いたるところ修繕が必要で、防災拠点という位置付けもあり、非常時に備えた発電施設、情報発信施設の整備など、計画的に補修を進めて参ります。

観光問題

問 村内で合宿する団体に助成を

答 先進地の状況を見ながら検討



田中 榮一 議員

「スポーツ合宿推進について」

問 スポーツ合宿を行う団体の増加を目的に、宿泊費の一部助成を行う制度を、独自にスタートしている全国の地方自治体があるが、村もこの制度を取り入れては。

村長 全国各地で補助できる仕組みがあり、福井県では、運動系、文科系を問わず、一人一泊1000円から1500円を2泊から3泊、上限金額を20万円から50万円と定めた範囲で補助を行っている現状があります。村としては、施設が十分でなく、利用が重なった場合は、くし引

きをしている状況であり、現在のところ補助をしていける状況ではありません。今後については、先進地の状況を見ながら検討してまいります。

問 若者のスキー離れと、景気の低迷が続いており、今シーズンの冬季観光客の入り込み状況は依然として伸び悩んでいる。冬の落ち込みを夏でカバーしようと、グリーンシーズンの誘客に向けて、多くの宿泊業を営む皆さんは頑張っているところで、今後、村としての合宿誘致対策は。

村長 スポーツ施設や資源を活用した誘客環境を創出することにより、産業振興による地域経済の活性化を図り、魅力ある活力に満ち溢れた村を創造していく一つの方策としてスポーツ合宿誘致を考えています。当然、施設整備が必要になりますので、財

政状況を見ながら、白馬ならではの施設整備に取り組んでいきます。

【スポーツ基本計画策定について】

問 国の方針であった「白馬総合型スポーツクラブ」が発足し、スポーツに対する村民意識が今まで以上に向上しており、基本計画策定に向けて積極的に取り組むべきと考えるが。

長教育 スポーツ基本計画は、スポーツ基本法に基づき、文部科学省で、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため平成24年3月に策定されました。地方公共団体は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとされています。長野県は、スポーツ推進計画策



白馬でスポーツ合宿（茨城県の高校） 7月25日 森上村営グラウンド

定について平成25年3月に計画を決定する運びとなっております。村としてもスポーツ環境を整備することは、地域社会の再生に重要な意義を有するものであり、策定については県の意向を踏まえ、スポーツ推進委員会において検討します。

私の思い出



飯田 矢口 博一

私は、昭和12年、神城飯田で農家の長男として生をうけ、今日まで白馬村に住んでいます。神城小学校2年の時に第2次世界大戦が終戦となり、食べ物満足にない貧しい時代から、東京オリンピック、白馬での冬季オリンピックなどを契機に高度成長期、そしてバブル景気の崩壊など目まぐるしい変遷を経験しました。

家の造りは萱屋根で、広い居間、座敷、馬屋から構成され、居間の中心に「いろり」が切っであり、天井からは「自在かぎ」が下がり、湯沸し、鍋などを吊るし、食べ物を煮炊きし、また食事の場所、近所の人とお茶を飲みながらの交流の場所でした。冬は外仕事ができ

ないので、暖をとりながら農作業に使う縄、米俵、むしろ等を作る父母の姿が思い出され、いろりは農家にとって一番大切な所でしたが、現在では生活様式が変わり、姿を消してしまいました。

現金収入の為、蚕を飼い、雨が降ろうが風が吹こうが、一日も休まず桑を摘む大変な仕事でした。蚕は、3回に分けて飼育し、成虫になると「まゆ」作りをする専用の棚に1匹1匹移動させるといふ、家族総出の仕事でした。家の中は蚕棚や桑置き場に占められ、居場所がないお蚕様様の生活でした。

米作りでは、人の手と牛馬の力が農家の主役でした。馬耕、代かき、一家総出の田植え、秋には実った稲を鎌で1株1株刈り、束ね、馬の鞍の片側に3束ずつ、計6束縄で取り付け、手綱を引いて家まで運びましたが、何回も往復すると馬も道順を覚え、私は馬の後

からついていったものです。当時、学校では田植え休み稲刈り休みが定められ、子供も重要な働き手の一員としてあてにされ、一生懸命に手伝いをしたもので、それが当たり前の時代でした。学校卒業後は会社員となり、勤めながら仕方なく田んぼ作りをしました。退職後は徐々に興味が増え、近所の先輩から肥料の量、水の管理を教わり美味しい米作りに挑戦しています。

空気のきれいな白馬で、白馬三山を仰ぎながら農業、林業の仕事をし、また大勢の人達と交流することにより、生き生き楽しく過ごしていきたいと思います。

○議会だより100号の訂正とお詫び

下川正剛議長の記事、議会報第1号の発刊が「平成2年」となっておりましたが、正しくは「昭和62年」の誤りです。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

平成24年 第2回 白馬村議会臨時会

平成24年7月2日 開催

下水道受益者負担金問題調査特別委員会設置！

●発委第9号

公共下水道受益者負担金問題調査特別委員会の設置に関する決議について

▽賛成全員により可決

公共下水道受益者負担金問題調査特別委員会

平成24年7月2日開催

- 1、設置の目的
公共下水道受益者負担金問題に関する調査
- 2、委員定数
議長を除く議員全員
- 3、正副委員長の選出
委員長 松沢貞一
副委員長 田中榮一

○設置にいたる経過について

村の公共下水道事業は平成元年度から事業着手し、平成17年度に敷設事業が終了しま

した。議会では、過去に一般質問で3回にわたり下水道受益者負担金の未収などについて質問を重ねてきましたが、今回、行政の内部調査により、未収、滞納及び時効問題が明らかになりました。そこで6月中旬に2回の議員懇談会を開き、行政から経過や状況について説明を受けてきました。極めて重要な問題ととらえ、臨時議会を開いて特別委員会を設置したものです。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



母から子へ

深空 服部 知子

今年の4月から、我が家の娘が幼稚園に通い始めた。朝の支度に時間がかかり、涙の日もあり、車で送ることが多かったが、ある日「おかあさん、きょうは歩いてこうよ！」と娘の提案で歩いて行った時のこと。車に乗ってはいわからない、花の香り、風のそよぎ、川のせせらぎ、陽の強さを、心と体でしっかりと感じた。自然の中を一步ずつ進めば、そこに自分の存在を感じられる。こんなに近くにあった自然の力に改めて驚き、見つめ直し、また歩み寄りたいと思う。

自分が母になり、子供だった頃のことを思い出す。夕焼けがきれいだから、紫陽花が咲いたから見てごらんと教えてくれたのは、いつも母だった。日々の暮らしの中で、幸せのかけらを私も娘に伝え大切にしていきたいと思う。そんな気持ちを持たせてくれた母に感謝している。



今こそ協力を

三日市場 太田 直樹

私は今、地元白馬のケーブルテレビの仕事をしています。仕事柄、取材等で様々な人と接する機会を得て、多くの話が聞けることを嬉しく思っています。

そんな中、先日取材先のある方から、「こんなに素晴らしい山や自然があるのに、村民が一番それをわかっていない。観光に来る人が白馬に求めているのは、日常の喧騒を離れた非日常。ニーズがわかれば、足りないものが見えるのでは。」という話を聞きました。私は耳が痛かった反面、これだけ白馬を思ってくれる人がいる事実を嬉しく思いました。

私を含め、白馬が好きで戻ってきた同年代が数多くいる現状、協力することでマンパワーは確保できるはず。人との関わり合いが面倒といった風潮がある昨今ですが、今こそ協力し合うときなのではないでしょうか。



常に挑戦

森上 松澤 一

若い頃は、何でもやって見ようと、興味もあり、常に物事を前向きに捉え、又、実行していた私が、今、この年になると、一步下がり、慎重に物事を考え、又時には、悲観的、消極的に考えてしまう、この現実、この現象は、人間誰しもそうなのだろうか？子供には、若い内に何にでも、経験や体験をしてもらいたい。それが、きっと必ず将来何らかの形で役に立つという自分。確かに、今思うと無駄なことをしたり、遠回りしたかもしれない。しかし、過去の経験が今の自分にあると確信している。もっと多くの物事に、新しい物を経験して、又常に挑戦して前向きに考え、実行していきたい。それが、年をとらないという事なのかもしれない。もう一度今、若者に提案します。若者よ、失敗を恐れず、常に挑戦だ。

編集後記

3・11の震災から脱原発への機運が高まるなか、今夏に向けた節電計画も発表されました。さまざまな議論がありました。大飯原発の3、4号機の再稼働が決まり、改めて、便利さの裏には大きな危機が潜んでいることを実感いたしました。

「議会だより」も前回で第100号記念誌を発売できました。村民の皆様や先輩議員の皆様などからの多くのご支援とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

また、読者からの貴重なご意見等も参考にさせていただきました。議員一同、気を引き締めて第101号からの誌面作りに取り組んでまいります。引き続きご愛読を賜りますようお願い申し上げます。
(太田 修記)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 太田 修 |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 松沢 貞一 |

白馬議会だより 101号
平成24年7月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 北辰印刷

〒339-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.vill.hakuba.lg.jp/assembly/assembly.html E-mail gikai@vill.hakuba.lg.jp